



# 臨床心理職と他職種との連携や協働

## を発展させるためのアンケート協力のお願い

日本心理臨床学会 特別課題研究班 代表 下山晴彦

現在、日本の精神医療では大きなパラダイムシフトが進行しています。厚生労働省は平成 22 年に「今後の精神保健医療福祉のあり方等に関する検討会」報告書を出し、「入院医療中心から地域生活中心へ」をモットーに政策転換を進め、多職種協働のチーム医療を採用する方針を固めました。心理職の国家資格化も、このようなメンタルヘルス政策の動向の一環に位置付けられるものです。

そこで、日本心理臨床学会では、特別課題研究として「医療領域の多職種協働チームにおける臨床心理専門職の役割に関する研究」を採択し、改革が進みつつあるメンタルヘルス政策を調査し、それに適した養成モデルを提案することを目指すことになりました。本アンケートは、他職種との連携や協働の現状を把握し、今後の臨床心理職の活動モデルの構築と、教育訓練カリキュラムの改善に向けての参考資料とさせていただくためのものです。ご協力をよろしくお願いいたします。

## アンケートの回答の仕方

アンケートは、下記の「特別課題研究班ホームページ」に掲載されています。

<http://cp-japan.net/>



このサイトは、心理臨床学会のサイトとリンクしていますので、そちらからアクセスも可能です。ホームページを開き、そこに掲載されている質問にお答えください。

質問項目のをチェックしていただくだけで、簡単に回答できる仕組みとなっております。

なお、パソコンだけでなく、スマートフォンやタブレットからも、簡単にアンケートに答えられるようになっていますので、お気軽にアクセスしてみてください。



裏面にアンケートの項目例を示しましたので、参照してください。

裏面に続きます ↓

## アンケートの項目例

- ◆ 他専門職との間で連携や協働が困難と感じる場合、その理由と思われるものを選んでください
- ◆ 他の専門職との間で連携や協働の難しさに対して、あなたは、どのような対処をしていますか
- ◆ 一般的に、臨床心理職の活動では多職種による協働チームの活動は発展していません。  
その理由と考えられることを選んでください
- ◆ 臨床心理職は、協働チームの一員として、他職種から何を期待されていると思いますか
- ◆ あなたが、他職種との連携や協働で役立ったと感じた知識や技能はどのようなものですか
- ◆ 今後、あなた自身、他職種との連携や協働の能力を発展させるため、  
どのようなことを学習したいと思っていますか



## ホームページ紹介



ホームページには、アンケートだけでなく、特別課題研究のテーマに関連する最新情報や研究班の活動予定を記載する予定ですので、ぜひご覧ください。

また、臨床心理職の専門性や社会的役割といった、本研究課題に関わる事柄について、会員の皆さまのご意見をお聞きする自由投稿欄や情報交換のための場も設けます。

そこに投稿された皆様のご意見を参考に、特別課題研究を発展させ、ひいては日本の臨床心理学の発展に少しでも貢献をしていきたいと考えております。

ぜひ、皆様の積極的なご参加、そしてご協力をお願いいたします。

## 研究会の今後の予定

- 9月14日（金）～16日（日）の心理臨床学会大会（於：愛知学院大学）において「多職種協働の発展に向けてのシンポジウム」（仮題）を開催予定 
- 11月17日（土）と18日（日）に東京大学において「他職種との連携・協働のための研修会」を開催。 

申し込みは、8月頃よりホームページを通して開始予定。



### <研修内容>

**認知行動療法**（ケースフォーミュレーション、リラクゼーション法、エクスポージャー、マインドフルネス認知療法、ACT、弁証法的行動療法 etc）

**発達障害**（アセスメント、診断、応用行動分析による指導 etc）

**精神医療**（睡眠障害、性同一性障害、境界性パーソナリティ障害の治療、薬物療法）

**協働チーム**（リエゾン・コンサルテーション、リーダーシップ、倫理、研究法 etc）